

クラブ活動報告

堺中ロータリークラブ 35 周年記念旅行

堺中ロータリークラブ
クラブ広報委員長 間下 敦司

2026年5月16日(土)～17日(日)の2日間に堺中ロータリークラブの創立35周年を記念して能登方面へ1泊2日で旅行しました。この旅行は2024年元日に発生した震災と、翌年に発生した豪雨被害のその後の状況を知り少しでも現地への支援が出来るようにと企画しました。

記念旅行には会員8名・会員家族2名・米山奨学生1名・事務局1名の総勢12名の参加となりました。新大阪駅集合後、特急サンダーバードで敦賀へ向かい、そこから参加者全員が初体験となる北陸新幹線で金沢へと向かいました。車内では各々の好みの駅弁とドリンクで、朝から旅情を楽しむひとときになりました。

能登半島へ到着してからは、現地のコミュニティセンターが運営する食堂で昼食をとりました。地域の大人たちが協力し、子供たちの面倒を見ているあたたかい雰囲気を感じ、復興の進んだ能登の状況の一片を見ることができました。しかし、まだまだ完全な復興という状況ではなく、道路を走行していても地面は脈打ち、ところどころ崩落した路面の修復は完成しておらず、海岸近くの隆起や陥没した道路は震災前の道路とは全く違ったところに仮設の道路が作られていて、大型車両は通行が困難という状態でした。見学させていただいた珠洲市の塩田村では、観光客も激減していて元の状態には全く戻っていないと話されていました。震災後に発生した豪雨による崖崩れも数十キロに渡って続いていて、これも復旧はまだまだこれからという状況でした。

夜は志賀町にある温泉旅館に宿泊し、夕食時に創立35周年記念パーティーを開催。クラブの思い出を語り合い、継続できたことに感謝すると共に堺中RCの絆を再確認する、素晴らしい時間となりました。

2日目は被災地支援の観点から少しでも多く現地で消費しようという、記念旅行のもうひとつの目的を実行するべく、能登半島にある道の駅や、金沢駅に戻ってから市場で買い物や食事をし、この旅の成果を参加者みんなで語り合い帰路につきました。

創立35周年の旅を通して、改めて継続的な災害支援の必要性を強く感じ、ロータリーとして出来ることを考える良い機会となりました。

素晴らしい企画をしていただいた会長幹事と親睦委員長をはじめご尽力いただいたみなさまと、今回ご参加いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

